

## 印刷時のトラブル事例（RIP からの印刷）

### トラブル内容

RIP で AI ファイルや EPS ファイルを印刷したところ、意図しない印刷結果になったというお問い合わせをいただきました。Ergosoft 社と確認し、原因と対策は次のようになりました。

### 原因

画像ファイル保存時に使用したアプリケーションのバージョン、保存時のオプションによって、RIP が正確に処理できない状態で保存されていたことによるものでした。

例えば、画像処理ソフトウェアの古いバージョンに残っているバグが原因で、正しく保存されなかった画像ファイルや、最新バージョンの画像処理ソフトウェアで拡張された機能を利用して保存した画像ファイルなどが原因になり得ます。

### 対策

AI ファイルや EPS ファイルの使用を中止し、今後は PDF 形式のファイルで印刷するということになりました。

※すべての AI ファイル・EPS ファイルに問題があるということではございません。

なお、PDF 形式のファイルでも、複数の PDF バージョンが存在します。PDF へ保存する際のオプションを適切に設定することで、トラブルを回避することができます。

保存時のオプションは、2 ページ目の「PDF 保存時の推奨設定」をご参照ください。

PDF に変更する際は、JPG など他のフォーマットと PDF では内部処理が異なるため、出力される色が厳密には異なります。特にリピート注文時では以前と同じフォーマットを使用することをお勧めします。

新規注文時に PDF フォーマットを利用するなど、ご検討ください。

## PDF 保存時の推奨設定

本マニュアルでは、Adobe 製品から PDF 形式で保存またはエクスポートする際のオプションについて説明します。PDF で保存する他の画像編集ソフトウェアも同様のオプションを選択してください。

### 1 Adobe PDF プリセットの選択

高品質で印刷する場合は、Adobe PDF プリセットで**[高品質印刷]**を選択してください。

### 2 PDF バージョン

■ **[互換性のある形式]**では、ほとんどの場合、**[Acrobat6(PDF 1.5)]** または **[Acrobat7 (PDF 1.6)]** が最適です。

PDF 1.3 では、グラデーションやシャドウに影響を与える透明度はサポートされていません。PDF 1.7 では、高度な透明度に対する機能強化はほとんどありません。すべての上位 PDF バージョンには、モニターに PDF を表示するための機能拡張のみが含まれています。



### 3 圧縮

高品質、または品質を落とさずに印刷する場合は、**[ダウンサンプルしない]**を選択してください。ラスタリング処理の高速化などが目的の場合は、**[ダウンサンプル(バイキュービック法)]**を選択し、**[300ppi]**次の解像度を超える場合**[450ppi]**を選択すると、ほとんどの場合最適です。

**[300ppi]**へのダウンサンプリングは、拡大縮小しないで印刷する場合に使用してください。それ以外の場合は、ダウンサンプリングはお勧めしません。

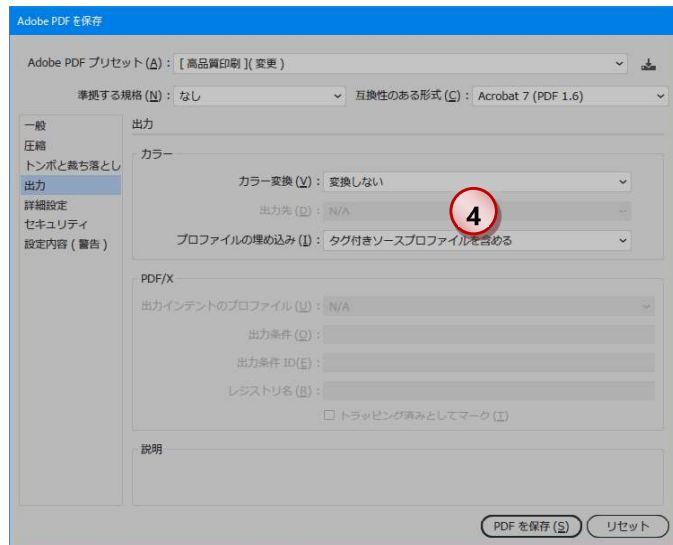
圧縮は**[ZIP]**を選択してください。JPEG はお勧めしません。

## 4 出力

【すべてのプロファイルを含める】を選択することは推奨されませんが、必須ではありません。

プロファイルが含まれている場合、PDF は、作成時に設定されたカラー管理設定を使用して、画像編集ソフトウェアで開くこともできます。

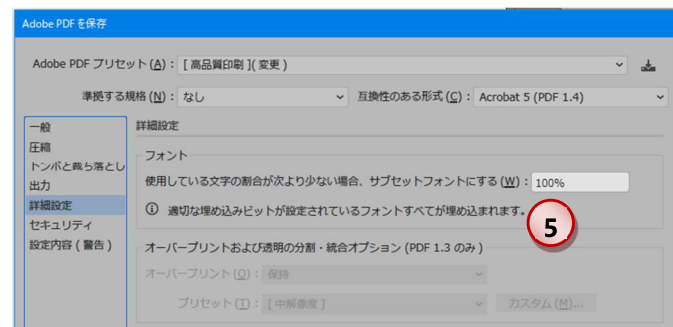
- カラー変換を行わずに PDF を保存することを強くお勧めします。



## 5 詳細設定

デフォルト設定から変更はありません。

フォントは、可能な限り埋め込む必要があります。



## 6 セキュリティ

デフォルト設定から変更はありません。

パスワードで保護しないでください。

